

中国（上海）ビジネスサポート

Monthly China News

* 毎月1回、定期的に中国より配信致します。

注目の全人代が終了。主要幹部の人事に焦点が集まったものの、巷の報道は昨年よりも淡々としていたように感じる。予想通りと意外な展開。それよりも上海市民はゼロコロナ政策が終焉し、自分も感染して身体も辛かった中でも、家族と今年は春節を迎えることができ、そして、この春は元気に自由に外に出られる…満開の桜の周りには、万感の思いで見つめる人々で溢れていました。今月のレポートをお届けします。



【政治・経済】

・ 全人代「2023年政府活動報告」:

第14期全国人民代表大会（全人代）第1回会議の開幕式が3月5日北京の人民大会堂で開催され、習近平中共中央総書記（国家主席、中央軍事委員会主席）ら党と国の指導者が出席した。李克強総理が国務院を代表し、政府活動報告を行った。今年の主要目標は次の通り。①国内総生産（GDP）成長率5%前後②都市の新規就業者数1,200万人前後、都市の調査失業率5.5%前後③消費者物価上昇率3%前後④経済成長と足並みを合わせた住民所得の増加⑤輸出入の安定促進・質向上、国際収支の基本的均衡⑥食糧生産は6億5,000万トン以上を維持⑦単位GDP当たりエネルギー消費量と主要汚染物質排出量の継続的低下、化石エネルギー消費量の重点的抑制、生態環境の質の安定と改善。（人民網 3/5）

・ 第14期全人代第1回会議閉幕会議での習近平国家主席重要講話：経済関連では、強国建設、民族復興の路線において、揺るぎない質の高い発展を掲げた。科学技術・教育による国家振興戦略、人材強国戦略、革新駆動型発展戦略の一步踏み込んだ実施、科学技術の自立自強能力の向上、産業転換・高度化、都市農村間・地域間の均衡した発展、経済・社会発展のグリーン化、低炭素化、経済における質の効果的向上と量の合理的伸びの実現等。経済力、科学技術力をもとに総合国力の強靱化を明確に示した。全人民の共同富裕推進において、更に明確な実質的進展を獲得していかなければならないと明言。（3/13 新華社）

・ 新体制共産党中央・国務院、新4機関設置：新体制共産党中央及び国務院は「党と国家機構の改革方案」を発表、共産党中央の機構改革において、経済関連で新たに下記4機関を設置した。党への一極集中体制による発展改革が推し進められると見られる。

(1) 中央金融委員会：金融活動に対する共産党中央の集中的・統一的な指導を強化。

(2) 中央金融工作委員会：金融系統における党の政治建設、思想建設、組織建設、気風建設、規律建設等を導き、共産党中央の出先機構として、中央金融委員会弁公室と同じ執務室で業務を行う。

(3) 中央科学技術委員会：科学技術活動に対する共産党中央の集中的・統一的指導強化

(4) 中央社会工作部：人民の陳情・請願業務の調整・指導、全国的な業界団体・商会における共産党の活動の統一指導。（3/13 新華社）

・ 新国務院総理李強氏、国務院第1回全体会議を主宰：国務院の指導層の業務分担、国務院機構の設置を発表し、新たに改正された「国務院工作規則」の採択と政府の任務配分を行った。今期政府の任期である5年は、社会主義現代化国家の全面的な建設に着手し動き出す重要な時期」とし、①安定そして持続性ある質の高い発展、②実体経済を経済発展、③新たな国有企業改革、民間経済の発展促進、対外貿易・外資系企業の基盤安定化、農業農村業務へ取り組み強化と食糧・重要農産物の安定供給保

障、環境汚染防止の推進、生態環境の質の持続的改善、カーボンピークアウト・カーボンニュートラルの積極的推進、社会事業の発展、感染症予防・抑制などの各方面の業務の遂行を明言した。(3/18 新華網・人民日報)

- 2月物価統計指数5か月連続マイナス：2月のCPI（消費者物価指数）は前年同月比▲1.0%（2月から▼1.1pt）、食品は▲2.6%（同▼3.6pt）。非食品は▲0.6%（同▼0.6pt）。PPI（工業生産者物価指数）は前年同月比▼1.4%（2月から▲0.6pt）と5か月連続のマイナスで推移。(3/9 国家統計局)
- 中国文化旅游部中国国民の海外団体旅行を段階的に再開：中国文化旅游部は「旅行社による中国国民の関係国（第2弾）への海外団体旅行業務の試験的再開に関する通知」を発表。3月15日から、新たにフランス、イタリア、スペインなど40か国を対象に、全国の旅行社及びオンライン旅行企業による中国国民の団体旅行と「航空券+ホテル」業務の取扱いを試験的に再開するとした。2月の第1弾の解禁と合わせて60カ国が対象となる。日本、韓国、米国、英国等は対象に含まれていない。(3/10 新華網・人民網)
- 全国失業率依然として高止まり；全国の1~2月の雇用は、都市部調査によると失業率が5.6%（昨年12月から▲0.1pt）、若年（16-24歳）都市部調査失業率は18.1%（同▲0.8pt）となった。先の全人代でも失業率抑制は明確な目標で、ゼロコロナ政策転換以降、産業再構築と産業復興が深刻な課題となっている。(国家統計局3/15)

【製造業関連・関連の政策等】

- 2月の自動車販売状況マイナス傾向：1-2月の自動車販売台数は前年同期比▼15.2%（2022年12月から▲6.8pt）の362万5,000台で、うち乗用車販売台数は同▼15.2%（同▲8.4pt）の312万1,000台、商用車販売台数は同▼15.4%（同▲4.8pt）の50万4,000台。1-2月の新エネルギー車販売台数は前年同期比▲20.8%の93万3,000台で、市場占有率は25.7%だった。(3/10 自動車工業協会)
- 車載電池材料の炭酸リチウムの値崩れ：中国国内での車載電池材料の炭酸リチウムの値崩が続いている。最近は一日でトン当たり5,000元~1万円の幅で値下がり。需要側の好転が見られないこと、「上昇時は買いに走り下落時は買い控える」心理と継続的な値下がり、川下企業の原材料購入意欲の抑制等が原因との見方がある。(3/14 21世紀経済報)
- 中国の5G基地局総数が238万4,000ヶ所に：中国の2月末現在の5G基地局総数は238万4,000ヶ所にのぼり、携帯電話基地局全体の21.9%を占めた。5Gネットワークの建設が着実に推進されている。1-2月の電気通信業務の収入は前年同期比7.9%増の2,803億元（1元は約19.1円）。電気通信事業者3社（中国移动、中国联通、中国电信）はIPTV、インターネットデータセンター、ビッグデータ、クラウドコンピューティング、モノのインターネットなどの新興事業が順調に成長し、1-2月の業務収入は前年同期比25.7%増の計629億元にまで達した。(3/24 工業・情報化部・人民網)
- オーストラリアからの石炭輸入再開：中国は全ての国内企業にオーストラリアからの石炭輸入を許可する予定。2020年末に始まった豪州産石炭の輸入禁止が終了することとなる。(3/14 観察者網、第一財經網)

【トピックス】

1：新型コロナ感染、4月1日より保険適用に

4月1日より新型コロナウイルスは、一般インフルエンザと並ぶ乙型伝染病の項目に入り、一般市民への保険が適用となる。昨年に発令された関連医療施策はこれで全て切り替わる事となる。重度患者には入院費が保証され、高額だった輸入薬が適応範囲となれば、他の20項目の伝染病治療と比べても1.8倍の市民負担。現時点では薬そのものの高額が影響はするが、それでも許容範囲内と見なされている。ちなみに2022年の基本医療保険基金の総収入は3兆698億元（前年比▲6.9%、前年から▲8.7pt）、総支出は2兆4,432億元（同▲1.6%、同▲12.7pt）。ワクチンの無料接種、60歳以上の

老人へのコロナ輸入薬優先配布が影響した。(3/30 国家医療保障局・国家衛生健康委員会)

2：北京の2022年常住人口は2,184.3万人 前年比4.3万人減

北京市の人口減少が深刻化している。統計局と国家統計局・北京調査総隊が21日に発表した「北京市の2022年における国民経済と社会発展統計公報」によると、2022年末の時点で、北京の常住人口は2184万3000人と、前年比で4万3000人減少。現時点で、2022年の北京の域内総生産（GRP）は前年比0.7%増の4兆1610億9000万元（1元は約19.0円）と試算されている。これを常住人口で割ると、北京市の一人当たりGDPは19万元となる。市民のエンゲル係数（家計の消費支出に占める飲食費の割合）は21.6%で、国際連合食糧農業機関（FAO）の基準ラインでは「富裕層」の水準（20 - 30%）に達していることになる。少子化そして高所得者層が厚みを増してきている一方で、都市部を支える外地労働者等の流動人口も減少傾向。所得格差や失業率等の問題も潜在している。(3/24 人民網)

3：4月1日から広深港高速列車が62本増便。

中国大陸部と香港特別行政区の高速列車が増便になる。今年4月1日より、広深港高速鉄道（広州-深セン-香港）香港西九龍駅と広東省内の越境高速列車の本数を段階的に40本増やし、また同駅と広東省外とを結ぶ長距離高速列車が22本増える見込み。1日より、広深港高速列車は越境列車の本数が現在の102本/日から164本/日に増え、66駅が香港西九龍駅に直結することになり、2019年の運行水準までほぼ回復。待ちに待った香港特区と中国大陸部の間の人々の移動や経済貿易往来の活性化に期待がかかる。中国国鉄旅客輸送部によると、今年1月15日に広深港高速鉄道の西九龍駅が営業を再開、広州、深セン地区を結ぶ越境高速列車77本を運行させている。3月11日には、同駅と広東省の肇慶、潮州、汕頭（スワトウ）などを結ぶ越境列車は25本増、以降、広深港高速列車は利用者が増加し続け、1日当たりの旅客輸送量は延べ2万人を超え、一番多い日は延べ4万人を突破していた。(3/23 人民網・騰訊網より)

4：5月の労働節大型5連休 海外旅行者激増

旅行サイト・携程網の統計によると、現時点で、中国では今年の「メーデー5連休」の旅行関連の予約数が前年同期比150%増。大陸部発の海外旅行だけをみても、予約数が前年同期比で約17倍と激増している。新型コロナウイルス感染症対策が大幅に緩和され、今月15日からは第2弾のリストに基づいて、60ヶ国を対象に海外団体旅行と「航空券+ホテル」のパッケージツアーの商品が発売されるようになったのを背景に、旅行会社が「メーデー5連休」の海外旅行商品を次々と発売、爆発的人気だ。広東省広州から海外に向かうツアー旅行（旅行会社・広之旅）では、4万9,999元（1元は約19.0円）のアルゼンチン13日間の旅や2万9,999元のニュージーランド12日間の旅、1万4,999元のイラン10日間の旅、2万6,000元のスイス10日間の旅などが人気。旅行先トップ5はタイ、マレーシア、インドネシア、日本、スペインで、いずれの商品も予想をはるかに超える売れ行き。(3/23 人民網・騰訊網)

【中国無人自動運転事情・湖北省武漢】

先月号にも記載した通り、中国ではEV自動車による無人運転走行の実用化に向けて、各地で実証実験が加速気味に繰り広げられている。成都で展開されていたBaidu（百度）による無人運転試験は、そのスピードと技術の高さ、実用化に向けての自信と意気込みが感じられた。電動化の大規模な国家重点実験地域は、深セン市・上海市・四川省成都市・湖北省武漢市。先月に続き、今回は

武漢に赴き、地元最新情報を伺った。

◎武漢経済技術開発区（対応者：武漢経済開発区 叶昊区长）

武漢は、市内より若干西南に位置する武漢経済開発区と隣接の軍山新城までを自動車シリコンバレーとして産業チェーンを集約し、最先端新エネ車の開発から製造、実用化に向けて集中型で産業に厚みを作り出している。地元最大手の東風自動車。その自動車メーカーの名前を採用した主幹道路「東風大通」とEV自動車産業を集積させている産業地帯「自動車シリコンバレー発展枢軸」の2本を柱に、最先端EV車開発、製造、そして自動運転に関わる様々な研究施設や試験場、自動化、IT技術企業等が500社以上も集積している。開発から実証実験、実用化までの一連の試験実績は140万台を突破し、検証実績とその情報量は中国No1を誇る。東風自動車やBYD等の中国系、シトロエンやプジョー等の外資系、日系ではホンダ自動車と日産が進出しており、各国自動車メーカーが集まる武漢では川上から川下までサプライヤーが全て出揃っている。自動車メーカーにとってはタイヤ以外（*タイヤについては日系や他欧米系企業が使用するタイヤメーカーは湖北省には無い状態。湖南省から調達。*JETRO 武漢事務所情報 2/23）の調達は、全て武漢で事足りる。そしてこの中枢軸は、将来はEV無人運転で西部地域と沿海部をつなぐハブ機能となることも想定されている。



◎視察地：武漢智能網聯汽車測試場（武漢経済開発区内）

対応者：達安中心技術責任者 韓鵬（※筆者直接インタビュー）



西部地域から沿海部を結ぶ中継地点として、また自動車産業構造と地理的優位性から最も相応しいとして中国政府より2021年に中国全土の新エネ無人走行運転の重点エリアに選ばれた武漢。国家指導者習氏も視察に訪れるほどの力の入れよう、5Gを駆使したEV車無人走行重点実践試験区域として、国家最大級のEV自動車試験場が完備され、最先端EV車開発と共に、情報の安全性に関わる実証実験が繰り返され、膨大な情報がここ武漢に集約されている。

今回視察に訪れたのは、武漢開発区にある「武汉智能网联汽车测试场」。武漢政府の認可で運営されているEV実走試験場は経済開発区内の一般道ではなく、874,657㎡の特設専用試験場内での走行試験である。そして、この試験場は一般企業にも開放されているという点は大きく他地域と異なる。日系ではトヨタが実際に試験場を利用。地元の東風自動車、BYDも活用し開発に役立てている。この試験場ではAIによるデータ蓄積やデータ運用の一連のサポートも行っており、情報の安全性、運用時の正確性なども含め、日々各社が先端技術を研鑽している。この試験場では、各社の最先端試験情報が常に蓄積、そして更新されている状態。当然、一般企業が商品化実用化を目指す為に試験をしている訳で、データ自体は国や開発区の資産ではないが、実際は開発区内にそのデータが集約されている事に驚愕、実に中国らしい。外部からの見学者には一切写真不可、徹底した機密保持が要求される。敷地内には、複雑な構造の交差点、死角の多い立体交差、なんと高速道路の入り口や分岐点、合流地点も再現されている。車幅も単線から5車線まで、また試験場内には1,750mも続く見た目は平屋工場のような一角があり、中では雨風、温度差、雷等の自然界の極限現象が再現され、無人自動走行時の悪天候の中でのリスクを検証できるようになっている。実証試験が可能な項目が非常に多く、現在各地で展開されている平面で限られた区域内のテストよりは一段とレベルが高いことがわかる。一般自動車メーカーは、この領域のテストを繰り返し、EV車そのものの開発だけではなく、その先の無人走行運転の開発に挑んでいる。武漢では日系は日産とホンダが進出、EV自動車生産開発は、現在はホンダが若干優位。生産ラインも欧州輸出向けに増設。武漢のEV車は日系中

国系とも、今後も目が離せない。

◎EV 無人運転タクシー予約アプリ「萝卜快跑」



北京、上海、広州、深セン、重慶、成都、武漢、等で実際に運用が始まっている無人自動運転新エネ車予約アプリ。「萝卜」の意味は、大根。中国語音では「Luobo」となり、ロボットの「Robo」に近い事からこの名が付いたそう。タクシー予約アプリの滴滴と似た携帯アプリで、4人乗りのEV乗用車を携帯で予約すると、現在地まで迎えに来てくれ、目的地まで乗せてくれる。成都と同様にAI運用は百度。武漢では東風汽車の資本も入る。実用化されている300km²内でIT技術を駆使しAI学習情報を蓄積、各地でのデータを運用しながらも集積している。武漢では先の成都より一歩進んでおり、既に昨年からの試験的にはあるが実用されており、開発区内を普通に走っている。既に開発区内に勤務するスタッフ及び、区内に設けられた居住区に住む住民たちの足となっており、120台ほどの無人運転新エネ車は、面白さも手伝ってアプリで呼んでも待たなくてはいけないほどの人気ぶり。現在は試験運用期間

ということなので優遇されているので、初乗りは2元。シェアサイクルが1元のところ、EV自走走行車が2元となれば、人気が出るのも頷ける。車に乗り込み、シートベルトを締め、タッチパネルでスタートボタンを押すと発車。運転席には全く人がいない。危険察知能力は当然だが人間とほぼ同レベル、ぶらりと道路を横切る人を感知するとクラクションも鳴り、カーブに来れば緩やかに減速、カーブを出るときには加速する。違法駐車も3メートルほど前で感知し、ウインカーを出しながら避けて走る。目的地に着いてもきちんと幅寄せし、人が降りやすいところで停止する。



この運転席はもう装飾品になるな…と想像していたところ、既に東風汽車では箱形の無人運転EVバスを開発、実用化の一手前まで来ていた。6人乗りから8人乗りまで。車体そのものが大型になり、車体操作や安全性、人の乗り降りも複数名になるので注意方向も多岐になる。同時時間に情報交差というハイレベルで難易度の高い情報解析能力と運用に挑んでいる。平面での試験走行が開始されており、あと数か月で小型バスは実用化予定とのこと。武漢開発区内では一般乗用車タクシーから小型バスまでが、EV無人走行となる日が実現しそうである。



【イベントセミナー】

- 1：(※1)【出展募集中】FBC 上海 in GSA 6月11日-14日 会場：国家会展中心（上海）
- 2：(※1)【出展募集中】FBC 上海 in NEPCON 7月19日-21日 会場：上海世博展覽館
- 3：(※1)【出展募集中】FBC 上海 in PTC 10月24日-27日 会場：上海新国際展覽中心

* (公財)大阪産業局上海代表処は FBC ものづくり商談会の共催団体になっています。関西広域連合域内の企業は大阪産業局上海代表処を通じて申込みいただくと、(※1)は特別出展割引が適用されます。



武漢出張…こんな日が来るとは。3年前にコロナウイルスが真っ先に蔓延した都市である。上海と武漢、共に大都市封鎖を経験した者同士、日系企業の方々とは話が尽きない。「政府救援専用機では、先に他の社員を帰して、自分は最後までここに残ろうと思ったんだよね。」「いやあ、ホテル（*ホテルの長期滞在型棟）滞在で、一人だけの日本人。封鎖だったけど、一人しかいないんだから館内は自由に歩いていたよ。でも当時は状況が分からなかったし、不安はあったけれどね。瓜子（ひまわりの種）でも食べながら、じっと待つしかなかったなあ。ホテルで一人なんて、今思えば王様みたいな経験だよね。」（武漢 H 社 T 氏）と、お酒を飲みながら笑って話す。涙が、こぼれそうになった。5機出された政府専用機に最後まで乗らず、武漢に止まり事業再開を待った。中国で根を張る日系企業の逞しさに、頭が下がる。そして今、武漢での事業は堅調だそう。では、また次月のレポートにて。



大阪産業局上海代表処 中国（上海）ビジネスサポート
ファクトリーネットワークチャイナ（工場網信息科技（上海）有限公司）

上海市長寧区延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 2 階 268 室